

科目名	文学	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	矢口 裕子		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する		関連するディプロマポリシー		
ナンバリング	X-01-A-1-110041		国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること		
授業の目的	かつてアメリカ文学の古典ないし正典は、DWM (Dead White Male: 死んだ白人男性) の手になるものと相場が決まっていた。女性作家はせいぜい文学史の「脚注」で扱われるにすぎず、マイノリティ作家は「見えない人間」も同然の存在だった。だが、1980年代後半以降「性・階級・民族性」という三つの新しい批評的視点をもって古典を読み直し、埋もれていた作家を(再)発見する試みが盛んに行われるようになった。2016年にはフォーク/ロック歌手のボブ・ディランがノーベル文学賞を受賞して文学ジャンルが再定義を余儀なくされ、2021年の大統領就任式では22才の黒人女性桂冠詩人が未来への希望を謳った。本講義は、古典から21世紀現在までの文学を視野に入れるとともに、詩、演劇、小説、日記、手紙等、文学のなかのサブジャンルを広く扱う。作品理解の一助として映像資料を用いる場合がある。				
学修到達目標	批評的視点をもって文学を読み、「感想」ではなく「レポート」と呼ぶにたるものを書く能力が身につく。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	イントロダクション
第2回	詩①
第3回	詩②

第4回	詩③
第5回	演劇①
第6回	演劇②
第7回	演劇③
第8回	小説①
第9回	小説②
第10回	小説③
第11回	日記①
第12回	日記②
第13回	日記③

第14回	手紙
第15回	まとめ
第16回	レポート

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。作品精読。
【復習】時間・内容	2時間。配布資料を見直し、不明点・調べるべきことを調べ、自分の考えをまとめる。

成績評価	
評価基準・方法	成績評価は期末レポート90%、授業内レポート10%の割合で決定する。
フィードバック方法	授業内に課す少レポート、コメントへの講評

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	

教科書/参考書	授業中に指示する。
受講上の留意点等	出席のための出席は意味がない。私語は厳禁。自分が欠席した回の情報は自分の責任で回収すること。レポート執筆に際しては、当然ながら作品を読了することが前提である。剽窃・コピーは自動的に落第、ウィイペディア等執筆者が特定できないものを資料として使うことはできない。
JABEE	